

伊勢・三河湾貧酸素情報 (H27-9号)

平成27年8月7日

愛知県水産試験場 漁場環境研究部

平成27年8月3～5日に伊勢、三河湾において貧酸素水塊の調査を実施しましたが、その結果は下記のとおりです。

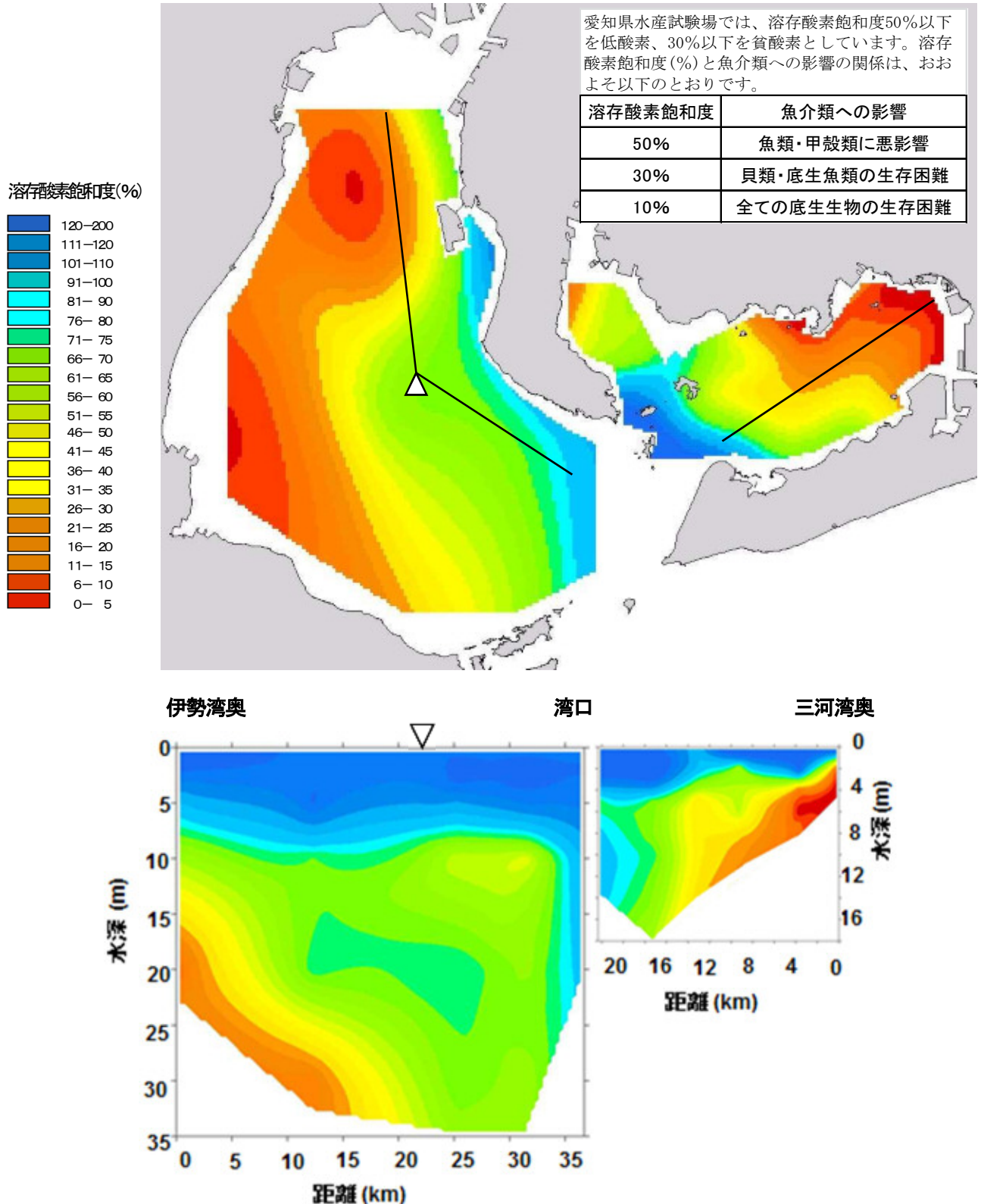


図1 伊勢湾 (8月3、5日)、三河湾 (8月4、5日) の溶存酸素飽和度の分布 (上図) 及び上図直線部分の鉛直分布 (下図) (愛知県「へいわ」、海幸丸、三重県「あさま」)

伊勢湾

8月3、5日の調査結果を図1に示しました。前回調査(7月28、29日)では、湾中央部を中心に貧酸素水塊がありましたが、今回の調査では、外海水が湾東部の底層に流入していたため、湾西部へ貧酸素水塊が寄せられている状況が確認されました。

外海水の流入の影響で、貧酸素水塊が偏在していますが、外海水の流入が弱まれば、湾中央部まで貧酸素水塊が拡大すると思われます。

	水温(°C)		塩分	
表層	23.3	~ 30.9	22.0	~ 31.5
底層	19.1	~ 27.1	28.0	~ 34.1

三河湾

8月4、5日の調査結果を図1に示しました。前回調査(7月23日)では湾中央部を中心に貧酸素水塊が確認されましたが、今回の調査では渥美湾奥部や北部で広く貧酸素水塊が確認されました。

自動観測ブイ1号(蒲郡沖)のデータを見ると表層水温は、30°C前後と高く表底層の水温較差が大きく躍層が形成されており、溶存酸素飽和度(DO)が低い層が徐々に厚くなっています(図2)。

今後は、さらに貧酸素水塊が拡大することも考えられ、気象条件によっては、苦潮が発生する可能性があります。

	水温(°C)		塩分	
表層	29.5	~ 32.4	23.5	~ 28.0
底層	21.7	~ 26.2	30.0	~ 32.8

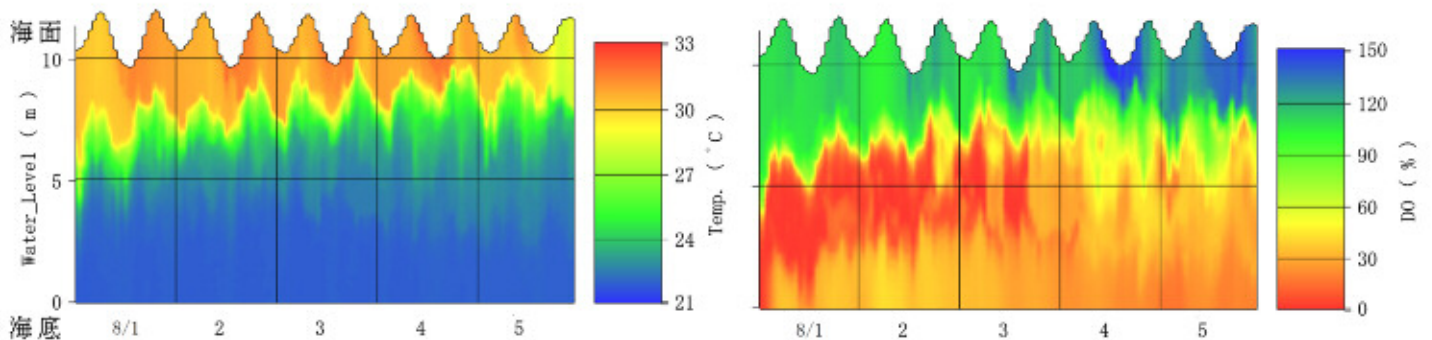


図2 水温(左図)及び溶存酸素飽和度(右図)の経時変化(自動観測ブイ1号)

参考

前回調査時の底層の溶存酸素飽和度

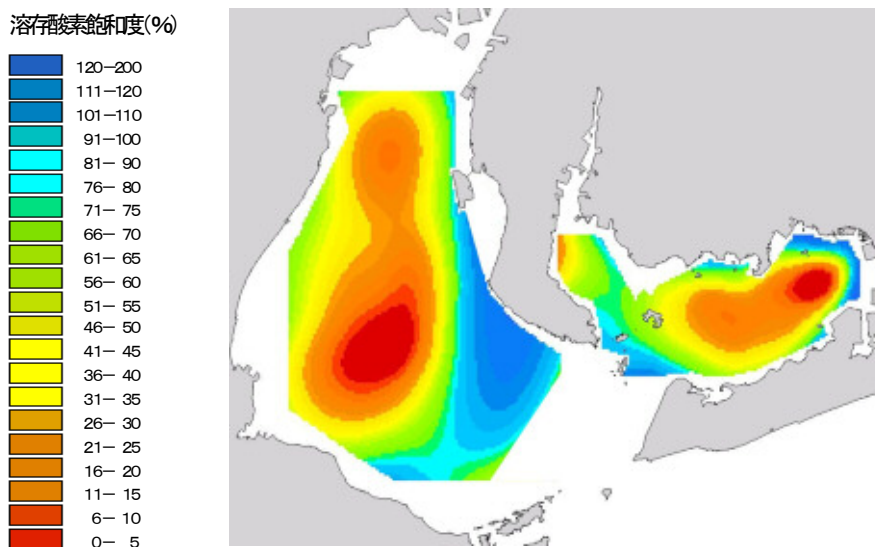


図3 平成27年7月28、29日(伊勢湾)、23日(三河湾)